

豊明市議会議長 殿

行政等視察報告書

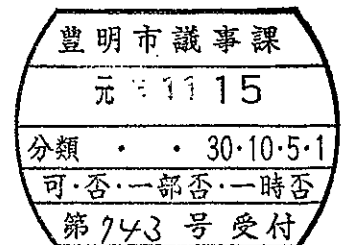
議員名 月岡修一

令和元年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
令和元年 10月 29日	兵庫県姫路市 (姫路城管理事務所)	「ARを活用した 姫路城の新たな演出」について
令和元年 10月 30日	高知県高知市 (高知 ちばさんセンター他)	「第1.4回全国市議会議長会 研究フォーラム」 【1日目】 第1部 基調講演 「現代政治のマトリクス ーリベラル保守という可能性」 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島岳志氏 第2部 パネルディスカッション 「議会活性化のための船中八策」 コーディネーター 坪井ゆづる パネリスト 高部 正男 他3名 第3部 意見交換会
令和元年 10月 31日		【2日目】 第4部 課題討議 「議会活性化のための船中八策」 コーディネーター 坪井ゆづる 事例報告者 滝沢一成 他2名 ※別添報告有

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。



豊明市議会 会派清和・会派清風 合同研修会

報告者 会派清和 月岡修一 令和元年 11月8日 提出

実施日 令和元年10月29日(火)
視察項目 ARを活用した姫路城の新たな演出について
場所 姫路城管理事務所内
視察時間 午前10時～午前12時

AR事業について

ARとは (Augmented Reality) 拡張現実を意味しています。現実世界からの情報を元にデジタル情報を重ね合わせ、視覚的に現実を拡張した表現を可能にします。画像や周辺の空間を認識し、現実の映像とデジタル情報を合成した映像をリアルタイムにディスプレイ上に表示するものです。つまりARとはコンピューターの力で、見えないものが見えるようになる技術です。

姫路城の入場者の数値

平成27年 286万人
平成28年 230万人
平成29年 180万人
平成30年 158万人
令和 1年 160万人強の予想

*年々減少する入場者(半分は外国人)を何とか回復させたいとの考えから、総工事総額2億円を投資してAR事業に着手した。AR製作費は2～3千万円。維持費はなし。

今年度は1千万円を投資してARポイントを9ヶ所増やした。

現在のARポイントは16か所で見ることが出来る。

VRスコープを発売している。(800円)スマートフォン専用アプリ『ストリートミュージアム』のインストール(無料)が必要となる。場内の指定された場所においてお城の壮大な写真を見ることが出来ます。

第14回 全国市議会議長会研究ホォーラム 報告書

参加者 会派 清和6名・会派 清風2名 計8名での合同参加

報告書 提出者 会派清和 月岡 修一 令和元年11月8日提出

開催日 令和元年 10月30日(水)・31日(木)

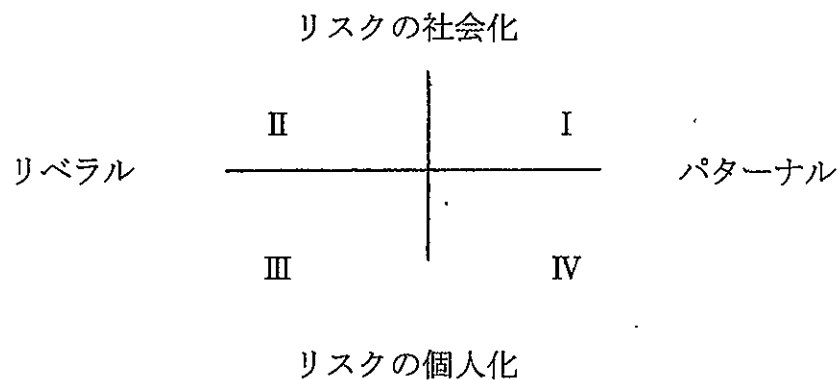
場所 高知市 高知ちばさんセンター

令和元年10月30日 午後1時～

基調講演 中島岳志 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授

「現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

1・政治のマトリクス



*自民党の50年

*希望の党はなぜ失敗したか

2・ラディカルデモクラシーとポピュリズム

*物語の設定の重要性

①2017年10月の立憲民主党フィーバー

2018年8月 以降、支持率急落(12%⇩8%)・・・立憲民主党の埋没

2018年9月 自民党総裁選挙

2019年 れいわ新選組フィーバー

3・リベラルの逆説

・「寛容」としてのリベラル

・リベラルの起源としての宗教戦争

・「異なる他者と如何に共生するのか」という問

4・保守とは何か

- ・カール・マンハイム 『保守主義的思考』
- ・「伝統主義」と「保守主義」 われわれは、普遍的な人間の本性としての伝統主義とひとつの特殊な歴史的、近代的現象としての保守主義を区別する。

保守するための改革

「二一バーの祈り」 神よ、変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与えたえ。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものと、識別する知恵を与えたまえ。

【パネルディスカッション】

「議会活性化のための船中八策」

コーディネーター

坪井ゆづる氏 [朝日新聞論説委員]

- ・「自治の主役」にふさわしく

議会は地方政治、自治の主役である。予算や事業の採否などの最終決定権を握っているのは議会であり、地域の将来を左右する重大な使命を担っている。2000年の地方分権一括法で、自治体の現場の裁量にゆだねられる仕事の量が増えたのに伴い、首長だけでなく、議会も自前で決断し、行動しなければならなくなってきた。分権改革の流れの中、全国各地で議会改革が繰り返され叫ばれてきた。そして議会基本条例をはじめ、幾多の成果を残してきた。住民との距離を縮め、明らかに進化を遂げた議会もある。しかし、世論は実に厳しい。いまだに[自治の主役]の自覚に欠ける議員が存在している。という議会不信が根強くあるのは否定しがたい。全国津々浦々で、選挙のたびに過去最低の投票率が相次いでいるのも議会に向けられた冷ややかな視線の表れに見える。このフォーラムを、活力があり、質の高い議会を実現して行くための具体策を考える機会にしたいと考え[議会活性化のための船中八策]と名付けた。

パネリスト

高部 正男氏 [市町村職員中央研修所学長]

1・市議会についての現状認識

○市議会改革への取り組みの広がり

議会基本条例制定 60.8% 議会報告会の開催 53.7% その他

2・自治体議会をめぐる状況変化

○市町村合併の進展

- ・市町村議会議員の減少

○議会運営の弾力化

- ・議会活動についての厳格な定義
- ・議会運営についての細部にわたる規則

3・議会基本条例

○議会の現状を認識して、議員同士が議論の上条例をまとめることの重要性

4・今後の自治体議会のあり方

○多様な人材の市議会への参画促進に関する決議

- ・全国市議会議長会第95回総会

○中長期的な制度課題

- ・選挙制度の見直し ⇒⇒ 選挙区制 連記制 選挙運動

○早急に検討すべき事項

- ・地方選挙の統一 ⇒⇒ 地方自治の日
- ・兼職、兼業規制の弾力化
- ・議員の厚生年金への加入

横田 響子氏 [株式会社コラボ代表取締役]

1・そもそも議会に必要なこと

- ・20年後の住民は幸せですか
- ・やりっぱなしになってませんか、数字(EBPM)とともにPDCAは?
- ・若手、女性の参加は? ⇒⇒巻き込んで街を活性化する策は?

○議会改革の具体的なアイデア

- ・中長期視点で街の目指す方向を議論⇒⇒人口減を前提に
- ・ガチンコ会議を多様な人材で実施
- ・経験の機会提供

古川 康造氏 [高松丸亀町商店街振興組合理事長]

1・高松丸亀町まちづくり戦略

- 土地の所有と利用を分離した市中心部の土地の有効活用
 - ・定期借地を活用した、再開発の仕組み⇒⇒地権者は個々の権利を主張するより全体の利益をシェアした方が得ということに気づいた
- 新しい商店街のかたちを目指して
 - ・新まちなか居住促進の実験 ⇒⇒安価なマンション整備
 - ・新しい地域医療の再生 ⇒⇒病院の開設(在宅医療)
 - ・市民との連携 ⇒⇒広場の整備・イベント
 - ・大学との連携 ⇒⇒丸亀町アーカイブ
 - ・起業家との連携 ⇒⇒丸亀町ファクトリー
 - ・食の再生 ⇒⇒高齢者との連携
 - ・生産農家・漁業者との連携 ⇒⇒新しい仕組みの市場
 - ・百貨店との連携 ⇒⇒商業者ノウハウの連携
 - ・エリアマネジメント(財源確保) ⇒⇒スケールメリットを活かすビジネス
 - ・役所との連携 現行制度の調整 ⇒⇒官民連携

田鍋 剛氏 [高知市議会議員]

- 高知市の概要
- 高知市議会議員選挙の記録
- 高知市議会議員について
- 主な議会改革の取り組み (平成6年～平成30年)

令和元年10月31日午前9時～

【課題討議】

滝沢 一成氏 [上越市議会議員]

- 市議を目指しやすい環境整備への提言
 - ・市議を目指しやすい環境整備検討委員会
 - ・市民との意見交換会
 - ・市民と議会の距離を縮める
 - ・選挙の困難さの解決
 - ・議会改革を一層進める
 - ・意見交換会の見直し
 - ・行政との対峙力
 - ・情報収集発信力

久坂 くにえ氏 [鎌倉市議会議長]

- 女性議員の現状の視点
- 顕在化した課題
- 現在の潮流
- 環境整備に向けて
 - ・ 出産に伴う議会の欠席に関する規定について考え方を明示
 - ・ 子の看護休暇に関する規定の整備
 - ・ 配偶者出産休暇の取得

小林 雄二氏 [周南市議会議長]

- 周南市議会の議会改革の歩み
 - ・ 議会改革特別委員会の設置(平成16年7月～平成17年6月)その他
 - ・ 政治倫理条例制定特別委員会の設置
 - ・ ケーブルテレビでの委員会放映をスタート
 - ・ 旅費条例の見直し
 - ・ 会派質問制の導入(平成25年3月～)
 - ・ 本会議・委員会の傍聴者名簿の廃止(平成28年12月)
- 行政監視機能の充実
 - ・ 所管事務調査の積極的な活用
 - ・ 指定管理者制度に関する調査の実施
 - ・ 100条委員会の開催
- 委員会懇談会 (ミニコン)
 - ・ 市民と議会が懇談することにより市民の自治意識の高揚を図る
 - ・ 委員会懇談会の開催状況
- 議会提案による政策条例の制定
- 周南市議会の情報公開の主な取り組み

『感想』

全国市議会議長会研究ホォーラムもすでに役割を終えたと感じました。壇上にいらっしゃる方々の質問に対する発言はまともな内容が少なく、豊明市議会が努力してきた議会改革には全然追いついていないと感じました。それにして豊明市議会の評価が低いのはなぜか？改めて驚いています。